

令和7年度 自己評価 (ひいらぎこども園)

A : 大変よい B : よい C : 一部検討を要する D : 改善を要する

| 項目 | 内容 | 評価 | | | | ○成果 ★改善点・次年度にむけて | |
|-----------|---|---|---|---|---|---|--|
| | | A | B | C | D | | |
| 保育目標について | (1) 法人理念、教育・保育目標の具現化に向け、園児の実態に即した目指す子ども像を設定しているか。 | ○ | | | | ○目指す子ども像を念頭に置き、子どもの姿を起点とした指導計画を作成できた。 | |
| | (2) 法人理念、教育・保育目標、目指す子ども像は、社会の要請や保護者の願いを反映しているか。 | ○ | | | | | |
| 教育・保育について | 指導計画 | (1) 全体的な計画は、子どもの姿を基に見直しを行なっているか。 | ○ | | | ○毎月学年会議を実施し、子どもの姿の振り返りやめあての確認ができ、縦のつながりを意識した保育を進めることができた。 ★子どもの姿や興味をもとにPDCAで振り返りと改善を行えるよう、時間を意識的に確保していく。 | |
| | | (2) 年間目標や月のめあては、子どもの姿を基に作成し、それを持ち寄って年齢ごとの繋がりを確認しているか。 | ○ | | | | |
| | | (3) 年齢会議を持ち、保育者間で、活動のめあて・活動計画・支援を必要とする子どもへの対応について、しっかりと共有した上で、教育・保育を行なっているか。 | ○ | | | | |
| | | (4) 子どもの生活や遊びを通した学びが、どのような資質・能力につながっているかについて、常に頭に置きながら、教育・保育を行なっているか。 | | ○ | | | |
| | | (6) 計画・実施・評価・改善(PDCAサイクル)を常に意識して、実践を行っているか。 | | ○ | | | |
| | | (5) 子ども一人ひとりの人格を尊重して、教育・保育を行っているか。 | ○ | | | | |
| 教育・保育について | 保育者としての姿勢 | (1) 子ども一人ひとりの人格を尊重して、教育・保育を行っているか。 | ○ | | | ○自然物の掲示や活動への柔軟な取り入れを通して発見や気づきに寄り添い、遊びが広がり深まっていった。 ○人権意識を持ち、子ども一人ひとりを尊重する保育に努めることができた。 ★整理整頓を習慣化し、日常的に環境の工夫・改善を積み重ねていく。 | |
| | | (2) 子ども力や活動に適した素材や道具を選べるように配置や場を、常に工夫しているか。 | | ○ | | | |
| | | (3) 自らもおもしろそうだと思うことにチャレンジして、子どもと一緒に新しい遊びを生み出して保育を楽しんでいるか。 | ○ | | | | |
| | | (4) 自然の変化を敏感に受け止め、活動や環境に取り入れているか。 | ○ | | | | |
| | | (5) 一人一人の子どもの興味・関心・発見や言動を丁寧に見守り、記録を書くことによって、子どもの育ちの理解や、自分の保育の見直しに努めているか。(連絡帳・ブログ・エピソード記録等)(エピソード記録は最低学期に1枚提出) | | ○ | | | |
| | | (6) 子どもの見本となるような人権意識・言葉遣い・姿勢・清潔な身だしなみ・整理整頓等を心がけているか。 | | ○ | | | |
| 教育・保育について | 行事について | (1) 行事や園外保育の在り方について、教育・保育目標の具現化において、適切であるかどうか見直しをしているか。 | ○ | | | ○日常の遊びの発展として行事をとらえ、子どもの声を聴きながら進め、行事後も遊びが続いた。 ○親子ふれあい遊びを通して、普段の遊びの様子を保護者に伝えることができた。 ★園日よりドキュメンテーションで活動の意図・意味をさらに丁寧に発信していく。 | |
| | | (2) 行事を普段の遊びの発展としてとらえ、子どもが意欲的に取り組み、その後も継続するような活動となっているか。 | ○ | | | | |
| | | (3) 保育者の願いと子どもの思いをバランスよく取り入れて、行事内容を考えているか。 | | ○ | | | |
| | | (4) 写真や動画等を活用して、背景にある保育者の意図が伝えられているか。 | | ○ | | | |

| | | | | | |
|-----------|---|---|---|--|---|
| 専門性を高める努力 | (1)教育・保育要領を常に手元に置き、参考にしながら、計画・実践・記録(連絡帳・日誌・エピソード)を書いているか。 | | ○ | | ○研修報告を昼礼で全職員と共有し、得た知識を保育実践に活かすことができた。 ○公開保育を実施し、外部の視点から保育環境を見直す機会とすることができた。 |
| | (2)園内研修の計画に、自ら参画しているか。 | | ○ | | |
| | (3)研修の成果を日常の保育や運営に生かし、園児の安全・安心や育ちに反映させているか。 | ○ | | | |
| | (4)園児理解・保育の質の向上に積極的に取り組み、子どもの育ちに繋げているか。 | ○ | | | |
| | (5)研修内容や学びを、園全体に伝え、広げているか。 | | ○ | | |
| 食育 | (1)教育・保育、目標・目指す子ども像に基づいた「食育計画」を作成しているか。 | | ○ | | ○発達段階に応じて食材の形状・量を見直すことができた。 ○人気メニューのレシピを保護者に発信し、食への関心を高めることができた。 ○栄養士と担任が連携し離乳食懇談会を実施して、園と家庭の連携を図ることができた。 |
| | (2)衛生管理を確実に行之、安全な食事提供を行っているか。 | ○ | | | |
| | (3)園児の発育・発達に応じた食事提供になっているか。 | ○ | | | |
| | (4)子どもの食事環境や食事提供の方法を常に見直し、改善し続けているか。 | ○ | | | |
| | (5)「食」に関心を持つ環境作りに取り組んでいるか。 | | ○ | | |
| | (6)食を通した保護者支援がされているか。 | | ○ | | |
| 保健・安全指導 | (1)年間指導計画・月案に生かされるような、具体的な保健指導を行っているか。 | | ○ | | ○毎月避難訓練を実施し、子どもと一緒に訓練の大切さを振り返ることができた。 ○毎月保健だよりを発行し、家庭への健康啓発を継続することができた。 ★看護師が感染予防の一環として手洗い指導を実施し、子どもの感染予防に対する意識向上をさらに図っていく。 |
| | (2)避難訓練・安全指導を、計画に基づいて適切に実施しているか。 | ○ | | | |
| | (3)健康・安全な生活に必要な習慣や態度を育むため、家庭への啓発を行っているか。 | | ○ | | |
| | (4)園児の安全確保のため、家庭・地域社会・関係機関等と連携を図っているか。 | | ○ | | |
| 安全設備整備 | (1)園内外・設備の安全点検を計画的に行っているか。 | ○ | | | ○計画に基づき、避難訓練を継続的に実施できた。 ○全職員で誤飲・アレルギー対応訓練を行い、万全の体制で取り組めた。 ★不審者対応は状況に応じて異なるため、事例もとに職員間で随時検討・共有していく。 |
| | (2)遊具・用具等を、活用しやすいように整理・保管しているか。 | ○ | | | |
| | (3)ヒヤリハットを出し合い、職員全員が共有し、安全確保に努めているか。 | ○ | | | |
| | (4)不審者に対応する周到な配慮を行っているか。 | ○ | | | |
| | (5)アレルギー・食事の段階等、命に関わることは、間違いが起こらないように高い意識と万全の体制で取り組んでいるか。 | ○ | | | |
| 同僚性 | (1)一人一人が、自分の役割を理解し、責任を持って果たすよう努力しているか。 | ○ | | | ○子どもの様子や支援の手立てを職員間で相談し合い、チームワークの向上に取り組めた。 ○気づきや困りごとをすぐに伝え合える相談しやすい場づくりができた。 ★昼礼やエピソード記録で子どもの発見を伝え合い、職員全体の学びにつなげていく。 |
| | (2)すてきなと思った子どもの姿について、常に語り合っているか。 | ○ | | | |
| | (3)活動のアイデアなどを学び合い、教え合っているか。 | ○ | | | |
| | (4)互いの良さや努力を認め合い、感謝の気持ちや称賛・憧れの気持ちを伝え合っているか。 | ○ | | | |
| | (5)自分のことだけでなく、園全体を見渡して、一緒に取り組む楽しさを味わいながら、仕事ができているか。 | ○ | | | |

| | | | | | |
|---------------|--|---|---|--|--|
| 同僚性 | (6) 保育力を高めるための指導や助言を素直に受け止め、自分の成長に繋げているか。 | ○ | | | ★行事を通じて学年を超えた協力関係づくりをさらに進めていく。 |
| | (7) よいよりチームワーク作りに貢献しているか。 | ○ | | | |
| 個人情報保護 | (1) 園児や保護者に関する個人情報を、適正に取り扱っているか。 | ○ | | | ○ブログや園だよりへの掲載時は複数人でチェックし、不適切な写真・表現がないか確認する体制を継続できた。 |
| | (2) 個人情報の保管は適切であるか。 | ○ | | | |
| 小学校等との連携 | (1) 日常的に情報を交換し、それを連携・接続に生かしているか。 | ○ | | | ○就学予定児の実態把握および卒園児の入学後の状況確認を常に行い、関係者間での共通理解の深化に努めた。 ○年度当初に年間計画を策定し、児童の実態や配慮事項について協議することで活動内容の充実を図るとともに、活動後には次年度に向けた改善点を検討した。 |
| | (2) 指導者同士が打ち合わせを行い、子ども理解や互いの教育・保育に対して理解を深め、共通理解を図っているか。 | ○ | | | |
| 家庭・地域社会との連携 | (1) 遊びの重要性や保育の意図を保護者に理解してもらえるように、発信しているか。 | | ○ | | ○ホワイトボードやドキュメンテーションで子どもの活動や成長を保護者に発信・掲示できた。 ○「親子ふれあい」では、保護者が来園し、日頃の遊びや成長の姿を直接伝えることができた。 ★行事後アンケートの意見を励みとし、次の保育実践に積極的に活かしていく。 |
| | (2) 保護者アンケートや意見を貴重な資料として、次の教育・保育に反映させているか。 | | ○ | | |
| | (3) 地域活動を通して、積極的に地域との連携を図っているか。 | | ○ | | |
| 子育て支援の推進 | (1) 地域の子育て家庭が、親子で遊ぶ場を設定しているか。 | ○ | | | ○定期的に地域の子育て家庭が親子で交流できる場を提供できた。 ○「誰でも通園」で未就園児が同年齢の子と触れ合う機会を設けることができた。 ★利用状況を職員間で共有しながら、地域の子育て支援のさらなる充実に向けていく。 |
| | (2) 話しやすい雰囲気のもと、「子育て相談」を実施しているか。 | ○ | | | |
| | (3) 未就園児に、同年齢の子どもと触れあう機会を提供しているか。 | ○ | | | |
| 情報発信 | (1) 園だより・入園のしおり・HP等で、園の情報を発信しているか。 | ○ | | | ○園だよりやホームページで園の取り組みや情報を継続的に発信できた。 |
| 外部評価 | (1) 第三者評価を受審し、園運営に反映しているか。 | ○ | | | ○地区民生児童委員との連携や園庭開放を通じ、保護者・評議員から意見をいただき園運営に反映できた。 |
| | (2) 地域の意見や要望を園運営に反映しているか。 | ○ | | | |
| 園長の役割 | (1) 各職員の持ち味や長所に目を向けて褒め、それを伝えることを率先して行っているか。 | | ○ | | ★一人ひとりの長所に目を向け、意識的に褒める取り組みを進めてきた。一方で、園の保育方針との相違が見られる場面では、指摘に力が入ってしまうことがあり、職員のモチベーション低下につながる懸念を感じた。今後は、丁寧な対話を通じて、園の方針をより理解してもらう関わり方を工夫していきたい。 |
| | (2) 各クラスの教育・保育や、職員の思い・考えを肯定的に受け止め、チャレンジを後押ししているか。 | | ○ | | |
| | (3) 園の課題に応じ、自治体や法人等との改善の方策に関する協議や、関係機関との連携を主体的に行っているか。 | | ○ | | |
| 副園長・主幹保育教諭の役割 | (1) 園の理念や評価に基づく取組の方向性を、日々の実践や子どもの姿と結び付けて、職員に伝えているか。 | ○ | | | ○園の理念や保育の質向上を意識して発信し、職員の提案と一緒に考えて日々の実践に生かせるよう促せた。 ★個々の職員の思いや課題を把握し、よりよい保育を目指せるようアドバイスを継続していく。 |
| | (2) 個々の職員の思いを把握し、課題となっていることの背景や要因を整理しながら、日々の実践を捉えるためのヒントを提示して、本人の気づきを促しているか。 | | ○ | | |
| | (3) 保育教諭等の作成した記録や計画を基に対話しながら、次の教育・保育に向けた思いやアイデアを引き出し、イメージを明確にしていくことを支えているか。 | | ○ | | |